

<第2分科会 事例発表>

『地域と子どもたちを笑顔でつなぐPTA活動を目指して・・・ 難波元町小学校PTAの取り組み』

事例発表者 令和3年度 大阪市立難波元町小学校PTA（浪速区）

副会長 三浦 竜也

1. 難波元町小学校について

難波元町小学校は難波小学校・元町小学校の2校が、都心部で起こるドーナツ化現象による児童数減少の影響を大きく受け1985年に統廃合され開校しました。大阪市での市立小学校の統廃合は、学制改革による新制小学校発足以降では難波元町小学校が初めてのケースとなりました。

商業施設が立ち並ぶ難波の一角に立地しており、小規模校としてのメリットを活かした算数科での少人数指導、漢字習得、国際理解教育、コンピュータを活用した学習、1人1台の一輪車導入など、先生方には子どもたちにより近い位置で日々指導していただいています。

コンピュータ活用学習は、1985年に難波元町小学校の開校当時から取り組んでおり、大阪市の学校の中では最も早い時期から取り組みを進めている学校のひとつともいわれています。

当時、大阪市の統廃合モデル校ということもあり、地域やPTAが活発に活動をする学校として、現在も多方面で子どもたちや地域の為にPTA組織は積極的に活動を続けています。



2. 難波元町小学校におけるPTA組織

本校のPTA規約には『実行委員会は毎月1回定例会を開催する。ただし2月、8月は行わない（第36条）』と記されており、毎月本校の多目的室に役員・委員が集まり実行委員会を実施しています。令和2年度から新型コロナウイルスの緊急事態宣言中はSNSを活用した会議となりましたが、緊急事態宣言が解除されると感染対策に配慮しながら現在も委員会活動を進めています。

本校では総務・学級・広報・成人教育・給食保健・校外地域・成人体育・厚生・人権啓発の9つの委員会で構成されており、各委員会には委員長と副委員長が属しています。PTA会員はこの委員会のいずれかに所属し、委員長以外は全員『副委員長』



として役を務めています。

新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、学校教職員と役員、委員長のみで実行委員会を実施しています。(例年は副委員長も各委員会1～2名参加し30～40名の会員で実行委員会を実施)

3. 地域行事への積極的な参加

難波元町小学校の校区内には獅子舞台で有名な難波八阪神社があり、本校の子どもたちは獅子舞や太鼓、こども神輿などに参加しています。PTAとしても、子どもたちの見守りの為に夏祭りの巡視や神輿、獅子舞の巡行の見守りを行っています。

また2月には同神社で行われる節分祭でPTA役員は鬼のお面をつけ鬼役で登場します。泣きながら逃げる子どももいれば、鬼に立ち向かってくる勇敢な子どもたちもいて、寒い中でも子どもたちの温かな笑顔で地域が和みます。




その他にも校区内各町会対抗の地域運動会(ふれあい運動会)が毎年10月に実施されており(実施実績29回)子どもたち・学校・地域のつながりをより深める行事として、PTAも運営に協力しています。(令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の為に中止)

4. コロナ禍にも負けないPTAを目指して挑戦!『なんもとスポーツラリー』

多くの学校行事や地域行事が中止になる中で、「子どもたちの思い出になる行事が何かできないか」をPTAで話し合い、令和2年度に『ふれあい運動会』の代わりに『なんもとスポーツラリー』をすることになりました。学年やクラスごとに競技をすると密集となり、できる競技が限られてしまいます。そこで、校庭を競技ごとに区切り、子どもたちが4人1チームで順番に競技を回っていく仕組みで計画を練りました。

種目紹介

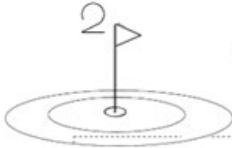
1



ひも引き競争

ハコから4本のロープがでてきます。ながさはみんなバラバラ。よ〜いドンっ！で ハコから1ばんはやくひっぱりだそう

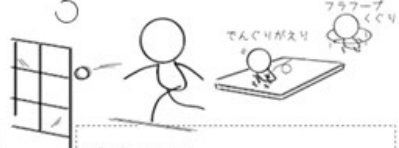
2



ポッチャ

ハタにむかって、ひとり3コのタマをなげます。チームでどうけい なん点とれるか！


3



障害物リレー

フラフープくぐって、まんぐりがえり！パネルにボールをたくさんあまよう〜 なん秒でかえってこられるかな

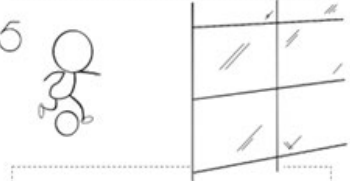
4



玉入れ

「しゅうりょう〜」といわれるまで、さいごまで あきらめず、みんなでカゴにいれよう！


5



キックターゲット


じゃんばんにボールを2回けって、チームみんなでなん点とれるか ちようせん！！

6



お菓子をめざして

よ〜いドンっ！でおかしをめざそう！好きなおかしをとってゴール！とちゅう、ハコの中にあるアメをとるのを わすれずに



なんもとスポーツラリー (ふれあい運動会)

5. なんもとスポーツラリーの感染対策

- ① 参加は事前申込制とし、イベント内容の説明と参加申込書を学校経由で配布
- ② 参加可能範囲は在校生のみ（保護者・卒業生・未就学児のために観覧場所を設置）
- ③ 回収した申込書をもとに運営委員会にて参加者名簿を作成
- ④ 出入り口は1か所のみとし、受付でマスク着用確認・手指消毒・検温・体調確認・名簿と照合
- ⑤ 景品は子どもたちが選ぶのに迷わないよう、時間短縮を目的に種類を絞って準備
- ⑥ 開会式後に手洗い場でせっけんを使って手洗いをしてから競技開始
- ⑦ 1競技およそ5分程度で終え、グループが重ならないように順次出発を配分
- ⑧ 競技終了したグループから自由解散として密集を避ける



令和3年度なんもとスポーツラリー参加者数

在校生206名 当日参加選手126名 / 付添保護者77名 PTAスタッフ35名

【令和2年度実施時の参考データ】

在校生191名 当日参加選手103名 / 付添保護者56名 PTAスタッフ35名

6. 難元花火大会

- ①例年は8月第一日曜日に”なんもと夏フェスティバル”として、子どもたちに多くの模擬店と花火を楽しんでもらうイベント
- ②令和2年度と3年度はコロナ禍でも開催できる形として模擬店は中止にして、花火観覧のみのイベントとした
- ③令和3年度は夏休み期間が緊急事態宣言期間と重なったため、11月の“なんもとスポーツラリー”と同日開催を目指すことにした

- ④参加方法はスポーツラリーと同じく事前申し込み制

参加者実績は子ども・保護者合わせて196名



7. おわりに

難波元町小学校PTAはこれからも学校・地域と連携しながら、子どもたちの教育環境の向上や未来へ向かって生き抜いていく力を育てていくためにできることを考えていきます。子どもたちの笑顔で学校・地域も元気になります。「大人も子どもも笑顔になれる場をいっぱい作る！」を掲げ、コロナ禍の困難な状況ですが、見方を変えればこれまではなかったことに取り組める絶好のチャンスでもあります。アフターコロナを見据えPTAでも今のこの状況を活かし、さらなる発展へとつながるようにみんなで考えていく時期だと思えます。

最後になりましたが、日常の授業はもちろん、外出授業や泊行事の実施についても日々懸命に努力してくださっている学校教職員みなさまに感謝しております。そして本日浪速区へお越しくくださったみなさま、長時間のご清聴ありがとうございました！